

# < 登壇企業 > 株式会社BLUABLE

## < 会社概要 >

- ◆設立 2024年10月
- ◆代表者名 魚谷 貴秀
- ◆本社所在地 兵庫県宝塚市
- ◆事業内容

### ブルーカーボン関連事業

- ・独自手法による海藻の大規模生産とブルーカーボンの深海固定により、カーボンクレジットの創出コストを大幅に削減し、需給が逼迫するカーボンクレジット市場から資金を獲得していく。

#### ①藻場造成支援事業（企業の海森）

⇒海藻が自発的に成熟・孢子放出・着生・再生産する仕組みを人工的に再現する独自手法の開発を進めている。これにより、メンテナンス人件費を削減可能。炭素固定効果を最大20倍に高められるブルーカーボンの深海固定の実証実験も進めている。

#### ②ブルーカーボン申請代行、サステナビリティ研修

⇒2026年のGX-ETS本格稼働によりカーボンクレジットの注目度が

爆増クレジットの内、ブルーカーボンに興味関心を持つ企業様から引き合いをいただき、藻場を作るところから支援する場合や申請だけを支援する場合や研修部分を実施するケースがある。

## ◆技術・サービスの特徴

- ・ブルーカーボンの事業化に当たってはクレジット創出コストの削減が必要。また、企業様への一気通貫のサポートも実施。

#### ①独自の装置及びICT技術等を活用したコスト削減効果

⇒メンテナンスが必要なウニ駆除や高価な藻礁の設置が不要。潜水やドローン等を用いてのモニタリング調査も不要となる。また、クレジット発行効率を上げる“深海隔離”も実施予定。

#### ②手厚い申請代行サービス等の提供

⇒漁業組合や自治体等との海域利用に関する調整から装置の製造、設置、モニタリング、ブルーカーボンの申請まで一気通貫支援。

## < 競合品・サービスと差別化のポイント >

- ・1t-CO2創出コストで20万円を切っている企業はいない。
- ⇒上記①を実現できれば、1.5万円/t-CO2で創出可能。

## < 現状の課題 >

### A：顧客獲得/販路開拓

藻場造成のPUSH型の営業はCPAが高い。

### B：人材

種苗生産/沖合養殖浮沈機器開発/海流データ分析と炭素固定式の開発

### C：規制・制度面

深海への海藻沈降のロビング

## < 希望する支援内容 >

A：植林活動等に関心のある潜在顧客へのアプローチ支援

B：研究機関ネットワークのご紹介  
(Ex.海洋工学（自律制御/構造強度/センサー連動制御/係留）を研究している大学教授、事業会社)

C：深海での実証実験に協力いただけそうな自治体担当者のご紹介  
(Ex.実験に適した海域を持つ北海道県庁の担当職員)

## < 支援により期待される効果 >

A：短期と中長期の売上拡大

B：研究力の自力UP

C：事業拡大の可能性

= 将来ビジョンの可能性拡大

⇒上記A～Cを通して事業を収益化ラインへ乗せていける。



## 事業支援

